



題字は、校歌（玄関掲額）より

令和5年 7月5日（水）

自らに挑み、自らを越える

昨日は週末から始まる県大会三洒予選等の壮行会を行いました。三年生にとつては、この大会が中学校における部活動最後の舞台となります。それぞれの代表からの言葉や選手たちの姿には、その意味の重さを感じさせる緊張感がありました。

また、試合にかける熱い思いとともに、仲間への気遣い、家族や先生方への感謝の気持ちを表しつつ、互いの健闘を誓い合う場となりました。

生徒会スローガン「**挑戦**」の示す、「**自分で限界を決めない**」「**今の自分を越える**」という気概をこの一戦で見せてほしいと思います。

【日程及び初戦の対戦校】

- 女子バスケットボール 八日 南中
- △バドミントン 八日
- 女子バレーボール 八日 塩浜中
- 女子テニス 八日 三滝中
- △陸上競技 八月二十四日・二十五日
- 野球 八日 三滝中
- △新体操 二十二日（県大会）
- 男子テニス 八日 三滝中
- サッカー 九日 南中



□本校設置の部 △校外活動

道徳の授業を通じて

六月二十八日、市教育委員会から指導主事を招き、三年生道徳の研究授業を行いました。教材は「父のひと言」。後に上野動物園長を務めた中川志郎さんが、正規職員採用試験に不合格となり郷里に帰った時、「おまえのカワウソが泣いているぞ」という父の言葉で、**無責任な自分に気づかされた**ことを回顧したお話でした。

責任の大事さは誰でもわかっていますが、どんな時もくじけず誠実に責任を全うすることは、難しいことです。**人間の弱さに迫りながら、葛藤を通じて自分を見つめる**ことができる授業のあり方について助言をいただきました。

比叡山を開いた最澄は、「**一隅を照らす、これ即ち国宝なり**（片隅の誰も注目しないような事にきちんと取り組む人こそ尊い）」という言葉を残しています。**責任を果たすことの意味や意義**について、今後さらに視野が広まるよう期待します。

二年生道徳は、ある空港清掃員さんの話から、自分の役割や仕事にどのように向き合っていくかについて考えました。職場体験を控えた生徒たちにとっては、「**職人としてのプライドを持ち、清掃に心を込めて向き合う**」という生き方が、心に響いたように感じました。

一年生道徳は、イチロー選手の生き方から、向上心や個性の伸長について考えました。「**小さなことを積み重ねる**」「**やると決めたら続ける**」「**毎日同じ時間に同じことをやる**」ことの大切さを語り掛ける動画のイチロー選手の言葉は、大変説得力があったようでした。

暑さに負けない心技体

七月に入り、一段と蒸し暑い日が続いています。本校はホームページの画像でもお分かりのように、**六月末から体育祭終了までをクールビズ期間として終日のジャージ着用を可**としています。エアコンも稼働しますが、猛暑の日には登下校も含めての熱中症対策が必要です。

ところで、ジャージの着こなしについて、最近ではパンツの外へ出すことが普通となっており、本校も安全性に問題がない限り、特に入られるようには指導していません。ファッション感覚の変化もありますが、**熱中症対策法としてむしろ奨励**されているようです。

世の中がイージーな方へと流れている感も否めませんが、気持ちの切り替えや、はじめある生活が必要なのは何ら変わりありません。適切な熱中症対策をとりつつ、**心技体を充実させ、暑さに負けずに集中力や根気強さを発揮**できるように取り組んでいきたいと思えます。

登下校の安全について

このところ天候が不安定で気象庁のホームページにて雨雲や落雷の状況を常に監視しなければならぬような日々が続いています。

生徒の安全確保のため、**下校時刻をやむを得ず変更する場合、H&Sや学校ホームページにて連絡**させていただきます。保護者の皆様におかれては、学校からの連絡にお気をつけいただきますよう、お願いいたします。

